

ご参考

2008年5月19日

富士重工業 人とくるまのテクノロジー展 2008 出展概要

富士重工業は、5月21日から横浜で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2008」に、最新のステレオカメラ技術によって、プリクラッシュセーフティ（衝突被害軽減）などを実現した運転支援システム「EyeSight」や、乗用車用として世界初となる「スバルボクサーディーゼル」などを出展する。

【主な出展について】

「EyeSight」

新開発 3D 画像処理エンジンを搭載した新型ステレオカメラを用いることによって、歩行者、自転車をも対象とした優れたプリクラッシュセーフティなどを実現する運転支援システム。世界で初めて、ステレオカメラのみでの「プリクラッシュブレーキ」、「AT 誤発進抑制制御」などの予防安全機能や、「全車速追従機能付クルーズコントロール」による運転負荷軽減機能を備える。

会場では、5月8日に発売したばかりの EyeSight 搭載車両を展示する。

*当社調べ

「スバルボクサーディーゼル」

今年3月に欧州に投入し、好評を博しているディーゼルエンジン。

剛性が高い水平対向エンジンのメリットを生かし、アルミ合金製のシリンダーブロックの採用とともに、同排気量の水平対向ガソリンエンジン同等のエンジン全幅としながら全長は 61.3mm 短縮し、クラストップレベルの軽量 & コンパクトな設計を実現。

左右のピストンが互いの慣性を打ち消し合う独自レイアウトが balanサーシャフトを用いることなくスムーズな回転バランスを生み出し、低振動で高い静粛性を実現。さらに、慣性やフリクションの少ない、優れたアクセルレスポンスにより、スポーティディーゼルに相応しい、滑らかに吹けあがるエンジン特性を持つ。

会場では、その特長について、エンジン本体の展示に加えて CG 動画により分かりやすく解説する。

「R1e」

現在、東京電力と共同開発を進めている電気自動車。家庭用電源では満充電を 5~8 時間で可能としているほか、急速充電器を用いれば 15 分で約 80% の充電も可能。

会場では、その特長について、実車展示に加えてビデオ動画によって分かりやすく解説する予定。

あわせて、次世代電気自動車用モータやインバータ、移動体通信網などを活用して車両状態を遠隔サポートする「スバル・ユーザ・コミュニケーション・システム」など、電気自動車の実用性や今後の可能性をさらに広げる先進技術を紹介する。

その他、主催者による「四輪/二輪レーシングマシンコーナー」にインプレッサをベースに WRC カーのイメージを表現したデザインモデルである「WRC コンセプト」を展示する。

以上